

## あったか〜いスープの本

北風が吹き、毎日凍えるような寒さが身にしみます。こんな寒い季節には、あたたかい食べ物、特にスープが恋しくなりませんか？今月はあったか〜いスープにちなんだ本をご紹介します。

1冊目は、群ようこ/著『パンとスープとネコ日和』です。

出版社に勤める主人公のアキコは、会社の不本意な人事異動や、母の急死をきっかけに、50歳を過ぎた自分の残りの生き方を改めて考え、母が営んでいた食堂を改装し、新たにお店をオープンすることを決意します。母の食堂とは違う、自分らしいお店にするため、安心な食材でつくるスープとパンの美味しいお店の開業を目指します。

生前の母との間にあったわだかまりを見つめ直し、自分を取り巻く人間関係を新たに築きながら、時に悩み、大切なものを失いながらも、毎日を精一杯自分らしく生きようとするアキコの生活を描いた、猫とおいしい食事がでてくる、心温まる小説です。

2冊目は、きむらゆういち/文・まえはらあきこ/絵『ちよつとだけ、ちよつとだけ』です。

晩ごはんの準備を済ませて、お母さんウサギは買い物に出かけていきました。子ウサギの4兄弟はお留守番です。子ウサギたちは次々に晩ごはんの鍋の近くにやってきて、「ちよつとだけ」とひと口ずつ、シチューをたべてしまいます。そして、「ちよつとだけ」テーブルクロスを汚してしまいます。

みんなの「ちよつとだけ」が積み重なって汚してしまったテーブルクロス。お母さんウサギが返ってくるまでに片づけを終えて、みんなでおいしいシチューを食べることはできるのでしょうか？

3冊目は、石澤清美/著『満腹SOUP』です。

特別な香辛料は使わず、日常遣いの調味料と野菜をしっかり煮込んでつくるスープの本です。たくさんの野菜を鍋に入れ、そこに肉や魚といったタンパク質も加えて煮込めば、栄養バランスのよいスープのできあがりです。

そしてこの本では、満腹になるスープばかりをあつめています。1品だけでも食べごたえがあり、満足感を得られるスープのレシピを紹介しているので、「スープって、それだけではなんだか物足りない…」「何品もおかずを作るのはめんどくさい…」と思っている方へ、おすすめの一冊です。

図書館には、この他にも、スープにまつわる本がたくさんあります。あったか〜いスープの本を読んで、ココロもカラダもほっかほかにしてみませんか？